





虛謂手指不可近掌心  
圓謂手皆圓  
正謂筆管正直  
緊謂手指貼筆緊實



# 貫道筆集

跡

尊卑變敬 大小次第

隣里和平 寒暑肅恭

## 貫道筆集目錄

弘法大師

木云以道風朝臣

冬義伉理卿

權大納言行成卿

左京大夫定實

伏見院

後伏見院

尊圓親王

本阿弥光悦





王羲之

天地

弘法大師

地あさる

と上層を穿

透するあり



王燭東溪錄

投國之

其入西老度

其入西老度

其入西老度

其入西老度



新夜白如雪

多行山家原注  
也山海經云  
招致

和子華市

華村已後

和子華市



空如也。乃

為大者。甫

其水。乃上。居

道風朝臣

雲海沈。洞天日

曉霞。乃重。園。情。境

五。拜。乃。士。屏。自。教

足。持。手。門。下。人。之



而碧衣初入且至  
如出見一人刺金  
蓮被以志銷魂子  
我風鳴左右侍者

八

古人指力世習  
市安者以四至  
中四載已至事  
沈惘然指碧衣



取金銀鈔合者折  
主半授使者以爲  
我謝太上皇謹啟  
是物最應好也

法曲

法曲——哥大定積  
德重然有餘慶永  
後之人存而明法



如——桑霓裳  
政和世理音律  
開元之人樂具康法  
如——歌聲——

十

——度無——  
家南宗復臨紫庭  
祚市——樂法  
如——合奏人壽長



聲邪新毒輕和  
以龍子和大氣未明  
子如龍紀字子乃  
多法曲今年風

去一夜光浪  
來一應溫行  
獨多海月



あまの川  
あまの川  
あまの川  
あまの川  
あまの川

仇理卿

あまの川  
あまの川  
あまの川  
あまの川  
あまの川



心為山

何人哉

石為山  
石為山  
石為山



耳如懸壺

如阿屈曲

得聲如



我雖時能出拔風落  
未今年以袖曾之乎  
快懷之志思約大  
終以滿言生新揮甲

有初尚名不夕第  
燕之陳

之志之

乃也沛也  
東華



市之為物也

如之何

而為之

如之何

行成卿

妙年能來

之買來年

秋夏



人之學圓轉

中有太志外

知山之入氣通

之子一為

激破萬物胡旋

如生康居徒



勞東南勞

里餘中原自

有胡旋者聞

十七

妙如旋栗園

市中時作此

之舞除六舞



勿免秘所

むうまけいけいとおとこころを  
みくちよともあきらみし

定寶卿

和乎者我

十九

胡之習俗

也世治則

其用為項



者有不嗜

此道者樵

夫莫之

伏見院

渭底如松

子尺面

底亦以極



一 家 林

か とも 庭 け して 祿 あり

一 とも け して 祿 あり

二

あ とも け して

か とも け して の

あ とも け して

あ とも け して



易道宗師之  
世宗卷日  
著為風林家

生之祠

生之祠

生之祠

生之祠



なぐさのきり

いづれは

湖邊人踏

三

三分縁

塞外馬都

一道路



花はさか

るけのひ

をひい

なをう  
する

ふくまはな

けそはちう

あそをわふ

くふ



あさふのたの

志乃原志乃

あしと

く

あさふ

ふあし

いそがないふと

あさふ

いたのあし

あさふの思



老  
ち  
く  
ま  
あ  
ら  
し

4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100  
 101  
 102  
 103  
 104  
 105  
 106  
 107  
 108  
 109  
 110  
 111  
 112  
 113  
 114  
 115  
 116  
 117  
 118  
 119  
 120  
 121  
 122  
 123  
 124  
 125  
 126  
 127  
 128  
 129  
 130  
 131  
 132  
 133  
 134  
 135  
 136  
 137  
 138  
 139  
 140  
 141  
 142  
 143  
 144  
 145  
 146  
 147  
 148  
 149  
 150  
 151  
 152  
 153  
 154  
 155  
 156  
 157  
 158  
 159  
 160  
 161  
 162  
 163  
 164  
 165  
 166  
 167  
 168  
 169  
 170  
 171  
 172  
 173  
 174  
 175  
 176  
 177  
 178  
 179  
 180  
 181  
 182  
 183  
 184  
 185  
 186  
 187  
 188  
 189  
 190  
 191  
 192  
 193  
 194  
 195  
 196  
 197  
 198  
 199  
 200  
 201  
 202  
 203  
 204  
 205  
 206  
 207  
 208  
 209  
 210  
 211  
 212  
 213  
 214  
 215  
 216  
 217  
 218  
 219  
 220  
 221  
 222  
 223  
 224  
 225  
 226  
 227  
 228  
 229  
 230  
 231  
 232  
 233  
 234  
 235  
 236  
 237  
 238  
 239  
 240  
 241  
 242  
 243  
 244  
 245  
 246  
 247  
 248  
 249  
 250  
 251  
 252  
 253  
 254  
 255  
 256  
 257  
 258  
 259  
 260  
 261  
 262  
 263  
 264  
 265  
 266  
 267  
 268  
 269  
 270  
 271  
 272  
 273  
 274  
 275  
 276  
 277  
 278  
 279  
 280  
 281  
 282  
 283  
 284  
 285  
 286  
 287  
 288  
 289  
 290  
 291  
 292  
 293  
 294  
 295  
 296  
 297  
 298  
 299  
 300  
 301  
 302  
 303  
 304  
 305  
 306  
 307  
 308  
 309  
 310  
 311  
 312  
 313  
 314  
 315  
 316  
 317  
 318  
 319  
 320  
 321  
 322  
 323  
 324  
 325  
 326  
 327  
 328  
 329  
 330  
 331  
 332  
 333  
 334  
 335  
 336  
 337  
 338  
 339  
 340  
 341  
 342  
 343  
 344  
 345  
 346  
 347  
 348  
 349  
 350  
 351  
 352  
 353  
 354  
 355  
 356  
 357  
 358  
 359  
 360  
 361  
 362  
 363  
 364  
 365  
 366  
 367  
 368  
 369  
 370  
 371  
 372  
 373  
 374  
 375  
 376  
 377  
 378  
 379  
 380  
 381  
 382  
 383  
 384  
 385  
 386  
 387  
 388  
 389  
 390  
 391  
 392  
 393  
 394  
 395  
 396  
 397  
 398  
 399  
 400  
 401  
 402  
 403  
 404  
 405  
 406  
 407  
 408  
 409  
 410  
 411  
 412  
 413  
 414  
 415  
 416  
 417  
 418  
 419  
 420  
 421  
 422  
 423  
 424  
 425  
 426  
 427  
 428  
 429  
 430  
 431  
 432  
 433  
 434  
 435  
 436  
 437  
 438  
 439  
 440  
 441  
 442  
 443  
 444  
 445  
 446  
 447  
 448  
 449  
 450  
 451  
 452  
 453  
 454  
 455  
 456  
 457  
 458  
 459  
 460  
 461  
 462  
 463  
 464  
 465  
 466  
 467  
 468  
 469  
 470  
 471  
 472  
 473  
 474  
 475  
 476  
 477  
 478  
 479  
 480  
 481  
 482  
 483  
 484  
 485  
 486  
 487  
 488  
 489  
 490  
 491  
 492  
 493  
 494  
 495  
 496  
 497  
 498  
 499  
 500  
 501  
 502  
 503  
 504  
 505  
 506  
 507  
 508  
 509  
 510  
 511  
 512  
 513  
 514  
 515  
 516  
 517  
 518  
 519  
 520  
 521  
 522  
 523  
 524  
 525  
 526  
 527  
 5

人  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

にきりし

有恒

通樹子仁  
梅桐山西戎

山同相  
西榮  
童我涼

如風涼



竹亭陸合  
海王反水檻  
風涼不納枯

廿七

道盡如月  
勤如車  
味如沙  
多落花



古今集

在原元方

しるし乃うらふまは

あきつるうらふまは

六

あきつるうらふまは

しるし乃うらふまは

後撰集

藤原敏行朝臣



あはれ君の足はる

むうらきけ

はるきふり

おとほれぬ

七九

拾遺集

壬午年

春入りふけり



くわんゐの

くわんゐ

くわんゐ

七

道園王

我有高山人

未藏清泉白

石在胸中



雍矜慈節

到磨中不

竹皮中雖

深磨

自嘆名利客

春羅秋桂莫



惆悵終有浮

名不繫心

無心水任方圓

萬不繫舟隨去

任風

夜學禪多性



枯榮興替吟  
悠然兩事外  
無處更留心  
須知諸相皆  
相若任無餘  
有餘言下忘言



授之在人間

何事長淮水

東流上石梁

先悅

名之曰水

亦之曰水



湖に花を

厨棚子

人

鶴田川

海神の

石乃

う







紹風乃明  
仲賢

つるくもやぬ

たふたふたふ

たふたふ

音るるる

たふたふ

邦 彦

澤 世

子 氏



夕之月

月乃

圓夜

江步

獨步

暗月



流徑

名  
見  
軍

楊  
廊

う  
な  
ふ

う  
な  
ふ

る  
日  
自



群 時

中偏言教也

々々々々々

ひ、何るへ哉

伊勢漢海

子以乃溪

ひうよも

伊勢

とたもい



之行為人

# 三輪筆法

一、心正筆正

二、氣貫筆端

四

石一卷石費道筆集因謂父者貫道之器也  
無父而豈名公之筆法有殘乎筆法之妙有  
心之邪正也心正則筆正筆正則字正也臨  
札則先澄心定氣可正威儀威儀不正則精  
神不靜精神不靜字勢不成也凡學書者可  
撰好筆古曰良工先利其刀能書必用好筆  
手指有皮肉骨之異則筆管堅柔唯順其氣  
分也古今筆勢有剛柔由執筆之異也空海  
云象字形萬類以此為妙此故蒼公風心擬  
鳥跡而揮翰王少意氣想龍爪而染筆鶴頭



偃波之秋。蠡露懸針筆。如此筆體。皆人心感  
物而作之。夫作詩者。以學古體為妙。不以寫  
古詩為善也。書亦以擬古意為善。不以似古  
跡為巧。所以古今能書。百家體別也。云云

平野屋

于時正保三年

十右衛門

正月吉日

右開板堀川通下立賣





文政九年  
海北  
懷